

平成 28 年度 事業報告

ぬかちゃん手柄作業所 (生活介護・就労継続支援 B 型)

1 事業所の運営方針

障害者総合支援法に基づき、利用者の個々の状況に応じた多様な日中活動の提供を行い、それぞれの事業に応じたサービス支援の実施を図ります。地域との交流を深め、地域社会に開かれた施設運営を行い、適切なサービス提供を継続させます。事業所間同士の連携を密にして、利用者の方に満足していただけるサービス提供に努めます。

地域の自治会等を活用しながら、地域住民の方々に事業所の PR 活動に努め、地域の福祉ニーズに沿った事業展開を図ります。

- 障害者総合支援法に基づき、適正に運営することができました。事業所間の連携を密にし、利用者、家族の方に安心していただけるようなサービス提供ができました。

*生活介護事業

利用者の状況に応じて適切な食事、整容、更衣、排泄、移動等生活全般にわたる支援を継続します。嘱託医、看護師と連携をとりながら、日常生活上の健康状態、服薬、健康に関する相談、アドバイスを受けながら健康維持のためのサービスを提供します。

体力促進に努め運動ができる時間をつくり、個人に沿った体操、散歩、軽運動の時間をとって心身共に良い状態が保てるように努めます。

新規事業所ですが、作業面において障害特性に応じた作業提供をより多くできるようにします。

- 利用者の個別支援計画書を基に、個々の障害特性に応じた支援ができました。開所から 1 年半以上が経過し、環境にも慣れて安定した生活を送ることができました。余暇活動においても、選択できる行事を増やして、施設外でのサービス提供を行いました。また、近隣の体育館を借りて運動する機会を設けて健康維持に努めました。

*就労継続支援事業 B 型

利用者が自立した日常生活が送れるように、生産活動、その他活動の提供を通じて社会生活に必要な知識、能力向上のための必要な支援を継続し、就労にむけて取組みができるよう手厚い人員配置をなるようにします。

十分な作業量の確保をし、外部からの委託事業としての作業も継続して取り入れて、安定した工賃額の確保にむけての取組みをします。また、工賃規程に基づき、公平な工賃支給を継続させます。新規事業所の PR も兼ねて、企業へ作業依頼の営業活動も積極的に行って

いき、取引先の企業数を増やし、地域との連携も深まるように努めます。また、就労へと結びつくように職員もそれにむけて研修受講をしながら取り組みをしていきます。

作業だけでなく、余暇活動も生活介護事業と連携をとりながら全員がより充実した行事に参加できるよう工夫をして変化をもたせます。クラブ活動の充実にも図り、余暇活動の楽しさも得られるように取り組みします。

- 作業する喜びが見出せるように、今年度も網干作業所と協力しながら作業確保に努めました。新規取引企業も増え、施設外での作業も引き続き行うことができ、利用者の方に働く喜び、工賃が増えることで仕事をする喜びを感じていただくことができました。

*平成 28 年度 施設行事、選択行事、クラブ活動、地域交流

生活介護と就労継続支援 B 型と合同で実施しました。

<別紙のとおり実施>

○施設設備管理業務

- ・ 消防用設備点検 ● 5 月、11 月
- ・ 自動ドアの定期点検 ● 5 月、11 月
- ・ 利用者大掃除 ● 8 月、12 月
- ・ 害虫駆除 ● 毎月月末
- ・ 施設整備点検 ● 毎月月初

(棟内、器具・備品、車輛運搬)

○健康管理業務

- ・ 嘱託医による健康診断を行います。
 - 健康相談できる時間を十分確保できました。
- ・ 看護師と連携をとりながら月に 1 回、健康管理を行います。
 - 連携をとりながら、十分健康相談業務を行うことができました。
- ・ 必要に応じて定時薬、臨時薬の服薬管理を行います。
 - 必要性のある方に対しては、確実な服薬管理ができました。
- ・ 季節性インフルエンザの予防接種（希望者対象）を行います。
 - 10 月に実施しました。
- ・ 休憩時間、土曜日の開所日を利用して積極的に運動を取り入れます。
 - 地域交流、近隣への散歩、会館で体を動かす機会を増やしました。
- ・ 空気清浄機、加湿器、消毒器、次亜水生成薬での、手洗い、うがいの徹底、利用者、職員の清掃を毎日継続させて感染症予防に努めます。
 - 原則、清掃を毎日実施して衛生面を徹底させました。室温にも配慮しながら、感染症が流行している時期は特に消毒に十分気を付けました。

○娯楽面の充実

- ・施設行事、選択行事を積極的に実施します。

家族の方と共に楽しめる日帰り旅行、宿泊旅行等の行事提供を行います。

● 毎月の行事、定例行事の希望を聞き行事のマンネリ化をしないよう利用者の意向を取り入れながら網干作業所と合同で実施しました。日帰り旅行で5月にグリコピア神戸とエキスポシティ、11月にレオマワールドへ行きました。

○非常災害対策

- ・消防計画、防災計画、東南海地震防災規程に基づき、消防署の指導による消防訓練の実施をします。
- ・避難、救助、通報、消火訓練を実施します。
- ・緊急時全職員が対応できるように研修を行います。
- ・防犯強化に努めます。

● 10月と2月に消防避難訓練を実施しました。また、毎日の防犯強化にも努めました。

○地域交流

- ・施設PRを兼ねて、地域住民と交流できるような施設行事を図ります。

● 網干作業所と合同で毎年恒例となっている施設行事を通じて、交流することができました。地域の方にも施設への認識をしていただけるように図りました。

○地域の特別支援学校生の実習受入

- ・学校と連携を密にとり、事業所への理解を深めていただきながら利用者の増員に繋がるように積極的に受入を行います。

● 学校とのコミュニケーションを十分とり、ニーズの汲み取りに努めました。また、実習生も増加し施設PRとなり、今後の利用者増員に結びつきました。

○家族との連携

- ・家族会を必要に応じて開催し、施設との連携をとりながら懇親を図ります。
法人、行政の情報提供を行い、行事等への参加協力を促し、互いに交流を深めていきます。
- 事業所に対しての要望、苦情等の意見提案がしやすいように普段から家族の方との信頼関係を築いて、相互の意思疎通をしっかりとっていきます。
- ・連絡帳、施設ホームページ等を活用して円滑なコミュニケーション、情報提供の発信を迅速に行います。

・面談を通じて、支援計画の見直しを定期的実施させ一層個々に沿った支援 が提供できるように保護者と連携をとりながらお互いに支援の在り方を考えます。

- 定期的に網干作業所と合同で家族会を開催し、家族・施設との懇親が図れる場を設けました。また、行事、施設からの連絡事項等、明確に伝達することができました。日中活動での様子が随時わかるように、ホームページへの迅速な掲載に努めました。
連絡帳の活用も十分行い、平素からご家族とのコミュニケーションをとりながら、確実な連絡体制をとりました。

○給食計画

・家庭的な雰囲気のもと、楽しく食事ができるようにします。嗜好調査を行って利用者に喜んでいただけるように努めます。衛生管理には十分気を付け食中毒等が発生しないように細心の注意をはかります。給食業者についても、見直しを図りマンネリ化とならないように努めます。季節に応じた行事提供をし、食事提供も四季折々なものを提供できるようにします。

- 利用者の意向を取り入れながら、委託業者による食事提供を継続して行いました。
また、外食をする機会を設けてマナー、社会性がもてるようなサービス提供を行いました。

○職員研修

・職員の支援技術の向上を図るために研修を充実させます。

制度に関すること、利用者権利擁護等の各種研修にも積極的に参加できるように努めます。

- 毎日の連絡会議（朝礼）を活用して、職員の資質向上となるように十分努めました。
実施内容を明確に残せるよう、各担当職員が書類作成し、共通認識がもてるようにしました。

<会議>

連絡会議	毎日（朝礼）
職員会議	月1回実施
処遇会議	月1回実施
ケース会議	3月
給食会議	4月、10月

感染症予防会議	11月
防災会議	10月、2月
虐待防止会議	4月、10月

○職員健康診断

・職員に毎年1回（原則）、定期的に健康診断を実施します。

- 8月に全職員対象に嘱託医のもと実施しました。

○施設のホームページ

・情報公開を目的として施設行事等を紹介します。社会に公開することで施設のPRを行い、施設運営等の透明性を確保します。それぞれの事業所で連携をとりながら、外部の方々にも幅広く知っていただくように、事業所間の連携をとりながら随時ホームページの充実を図ります。

- それぞれの事業所と連携しながら、ホームページの更新に努めました。行事、作業状況、施設での様子が見えるように個人情報にも留意しながら、施設の情報発信をしながら写真等の掲載も行い、多くの方に理解していただきやすいようなホームページに努めました。